

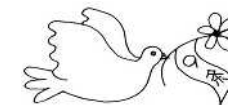


みやまえ



「宮前九条の会」第21回学習会

憲法九条を守ろう！ この一点で集まる宮前区市民の会



司馬遼太郎「坂の上の雲」の落しもの その歴史観を問うー

講師：岩倉 博さん

2010年10月11日

(月、祝日)

宮前市民館 第4会議室

午後2時～4時半

資料代：300円

<講師から一言>

日本陸軍への激しい批判を繰り返す一方、司馬さんは昭和天皇の戦争責任を一切問わずに擁護さえしました。それが私の司馬さんへの最大の疑問でした。以来、彼の歴史小説、歴史随想を読み、考え、司馬さんの10周年忌の年に「異評 司馬遼太郎」を上梓しました。

今回お話しするのは、日清・日露戦争を祖国防衛戦争として描いた歴史小説「坂の上の雲」とそれを原作にしたNHK放映の問題点です。小説の執筆動機と特徴、日清戦争にいたる歴史、NHK放映の意図などをお話し、「司馬史観」の問題点を検証します。問題提起をしたうえで、参加の皆さんと一緒に考えたいと思います。

<講師プロフィール>

1947年生れ。福島大学経済学部卒業。製鉄、印刷業界で働き労働組合運動で活動、東京地方労働組合総連合(東京労連)事務局長などを歴任。現在、山梨県北杜市の革新懇、年金者組合で活動。

著書：編著「国際労働基準で日本を変える」(大月書店)、「異評 司馬遼太郎」(草の根出版会)など。現在ミニ冊子「でくのべん」(不定期)を発行中。

連絡先：044-855-8896(若原)

宮前九条の会ホームページ <http://miyamae9.web.fc2.com/>
携帯サイト(PC可) <http://fhp.from.jp/miyamae9/>